

# 土屋 衆議院議員 品子



# ヌーベル13区

ありのままのことばで語る政治

2007  
Vol. 1

2007年(平成19年)4月20日 第39号

編集: 土屋品子後援会編集部 ■ 発行: 土屋品子後援会 | 〒344-0062 春日部市粕壁東1-8-15 TEL.048-761-0475 FAX.048-763-3475

土屋品子ホームページ OWLS NET WORK <http://www.owls.co.jp>

パリのエリゼ宮殿で  
開催された環境会議に出席



## 環境副大臣としてパリ会議に出席



イアン・ピアソン英国気候変動・環境担当閣外大臣と共に

昨年9月に環境副大臣に就任して以来、早いもので、あっという間に半年が過ぎようとしています。さて、京都議定書や地球温暖化のことに关しては、前号でも触れたとおりですが、今年に入って環境行政を取り巻く状況が大きく様変わりしてきています。

具体的には、昨年のスターン・



ポルトガルのコレイア環境・都市計画・地域開発大臣と共に

### 来年度予算案が可決・成立

レビュー(英国の気候変動に関するレポート)発表以降、アメリカの元副大統領ゴア氏の映画「不都合な真実」が全米で話題になり、日本でも上映をされましたが、その反響の大きさは、アカデミー賞を受賞したことでもお分かりだと思います。また、安倍総理が年明けに欧州訪問をした際、フランスのシラク大統領から閣僚級の出席を要請された「グローバル環境ガバナンスのためのパリ会議」に日本の代表として参加してきましたが、EU各国を中心に、地球温暖化や生物多様性などの問題が熱心に議論されました。会議は、エリゼ宮殿で開催され、各国政府、国際機関、企業等の代表者約150名が出席していました。私自身は、イアン・ピアソン英国気候変動・環境担当閣外大臣、スタブロス・ディマス欧州委員会(EC)環境担当委員とポルトガルのコレイア環境・都市計画・地域開発大臣と二国間会議

を実施し、今後の日本の環境政策や国際的枠組みに関する課題等について、意見交換をしてきたところです。その会議に前後してIPCC(気候変動に関する政府間パネル)第4次評価報告書(第1作業部会報告書)が同じパリで発表され、地球温暖化の原因は、ほぼ人為的な温室効果ガスの増加によるものと断定しました。

一方、国内では、安倍総理の環境立国戦略策定の指示やG8環境大臣会合を受けて、来年から始まる京都議定書の約束期間、G8東京サミット等に向けて、我が国が地球環境問題について、国際社会で先導的な役割が果たせるよう準備を進めているところです。

このような背景の中、第166回国会において平成19年



シラク大統領と談笑する土屋品子

度予算が可決・成立しました。経済成長や社会保障問題、教育問題や少子化対策、農政や防災といった主要課題に取り組むための予算が年度内に成立したことは、国民生活にとってもスピードある政策の実行に繋がります。その中で環境省所管の一般会計予算の総額は、2199億4700万円ですが、各府省の平成19年度環境保全経費等の総額は、2兆949億円となっています。環境問題には、これからも全力で取り組んでまいりますので、ご支援頂きますよう、よろしくお願ひいたします。



## 環境コミュニケーション大賞表彰式にて



環境コミュニケーション大賞にて主催者挨拶

環境を考えた積極的なエコ活動を行っている企業が年々増加しています。今回私は、平成9年度から実施され、今年度で第10回目を向かえた「環境コミュニケーション大賞」の授章式に出席しました。

近年注目を浴びている地球温暖化問題やゴミ問題。便利になり、住みやすい街づくりが促進されていますが、それゆえに地球にダメージを与えていることも確かです。そのような中、今まさに、私達国民、事業者のそれぞれの意識改革が求められています。社会経済全体を動かす企業にあっては、環境保全への積極的な取り組みが重要とされ、企業においてそのような取り組みが広がりつつあることは私に

とって大変喜ばしいことでもあります。

今回の大賞は、まさに先程申し上げました環境問題に積極的に取り組む優秀な企業に与えられるものです。環境問題に注目する企業が増加している中で、今回表彰を受け

た企業は、環境報告書や環境CMの作成などにあたり、わかりやすい表現や信頼性を高めるための独自の工夫をし、より質の高いコミュニケーションに取り組んでこられました。

大企業から中小企業まで多数の企業が評価されることで、環境問題へ取り組む新たな企業が輩出されることを期待しております。

### 資源循環工場を視察してきました。

一通りの物が揃っている皆さんの生活で、身の回りに不要なものは溢れていませんか？

近年、いらない物を再利用し

ようとするリサイクルに対する意識は高くなりつつあるようで、ゴミに対しても身近な問題となり、可燃物・不燃物・ビン・カン・ダンボールなど分別が進んできています。

ところでそのように別けられたゴミは、その後どのようなルートを経て、リサイクルされているのでしょうか。県内の視察で、私は寄居町にある「彩の国資源循環工場」を見学してきましたが、昨年6月にオープンしたこの施設は全国唯一の県直営の広域埋立最終処分場に隣接し、廃棄物の100パーセント再資源化を目指しています。その高い技術力や規模の大きさには目を見張る物があり、まさに資源循環型社会の構築を目指す質の高い施設です。分別・集積されたゴミはそこでビンなどのガラスは再度ガラスビン原材料や建築資材等に、カンなどの金属はアルミ原料や製鉄原料に、ダンボールなどは製紙原料や梱包材等、プラスチックは元々のプラスチック原料や燃料・化学原料等にリサイクルされます。

しかし、問題点もあります。例えばプラスチックゴミは、企

業から出た物は殆どリサイクルできる物であるのに対し、家庭から出る資源ゴミは使える物が半分くらいしかないのです。食品の残りが付着した物が多いからです。「きれいに洗って乾かしたもの」。これがプラスチックごみを出すときのルールです。

大量生産、大量消費、大量廃棄という時代はとうに終わり、資源循環型社会へと移り変わっている今、その方向性は皆さんの一人一人の力を必要としています。そしてそれが地球温暖化や環境破壊の防止に繋がることを感じ取って下さい。日本は環境先進国として世界で認められています。その名に恥じぬよう、身近な県内・国内の問題に一つ一つ取り組んでいき、さらにアジアから全世界にむけて多くの事を発信していけるよう、これからも頑張りたいと思います。



彩の国資源循環工場にて挨拶



ふくろう博士の  
ワンポイント解説

### 国立環境研究所とは？

暖冬と言われていた今年の冬。皆さんはどんな風に過ごされたかな。ワシは、ストーブをあまり使わずに過ごしたんじやが。温暖化問題が年々注目を浴びる中、今回ワシがご紹介するのは、茨城県つくば市にある「国立環

境研究所」というところなんじや。この研究所は、昭和49年に、前身の国立公害研究所として発足して以来、様々な環境問題の研究を続けているんじやよ。公害問題から地球環境問題まで、時代の要請に対応し、調査や研究をしているんじや。特に重点をおいているものに地球温暖化研究プログラム、循環型社会研究プログラム、環境リスク研究プ

ログラム、アジア自然共生研究プログラムがあるんじや。それぞれ、環境や社会の10年先にあるべき姿や課題を見越して設定されたんじや。国民の安全・安心を守るための研究に取り組んで、環境政策に貢献するのが「国立環境研究所」の使命じや。国内外でトップレベルの研究所として知られる「国立環境研究所」が世界が誇る研究成果を

これからも残してくれることを期待しておるよ。



自転車発電に挑戦

## PROFILE



### 衆議院議員 土屋品子 (つちやしなこ)

1952年生まれ。粕壁小、浦和岸中、共立女子高を経て、聖心女子大学文学部歴史社会学科卒業。栄養士、短大・大学客員教授。1996年10月の総選挙で埼玉13区より初当選。衆議院議員。現在4期目。厚生委員、法務委員、決算行政監視委員、青少年問題に関する特別委員会理事、衆議院憲法調査会、外務省大臣政務官、党国土交通専任部会長、党外交部会長、党政調副会長、外務委理事、内閣委委員を歴任。現在、環境副大臣。他に、日本エジプト友好協会理事、国会議員フットサルクラブ会長、対人地雷全面禁止推進議連副会長、日本アイスランド友好議連事務局長、日本カナダ友好議連事務局長。

会会長、党外交部会長、党政調副会長、外務委理事、内閣委委員を歴任。現在、環境副大臣。他に、日本エジプト友好協会理事、国会議員フットサルクラブ会長、対人地雷全面禁止推進議連副会長、日本アイスランド友好議連事務局長、日本カナダ友好議連事務局長。

## INFOMATION

### さわやかボランティアを募集しています。

「土屋品子」とともに新しい時代のさわやかな政治を実現しましょう。土屋品子後援会ではあなたの参加をお待ちしています。

### 「さわやかキャンペーン」ミニ集會に土屋品子をお呼びください。

各地区でミニ集會を開催中です。どうぞ友人や仲間と一緒にご参加ください。また、ミニ集會に土屋品子をお呼びください。

### 国会の中に入ったことがありますか？

国会見学にお越し下さい。土屋品子の職場であり、国の法律が決まる場である国会に見学に来て下さい。友人・知人と一緒に、何人でも結構です。



### ご意見をお聞かせください。

■OWLS NET WORK : <http://www.owls.co.jp/>  
■E-mail : [otayori@owl1.owls.co.jp](mailto:otayori@owl1.owls.co.jp)